

ステレオイヤースセット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DR-NC23SF

© 2007 Sony Corporation Printed in Malaysia



* 3 2 7 8 4 0 7 0 3 *

主な特長

本機は、外部の環境ノイズ（乗り物内の騒音や室内の空調音など）と逆位相の音を出し、環境ノイズを低減させるノイズキャンセリング機能を搭載した携帯電話用ステレオイヤースセットです。この機能により、電車内などでも、音量を上げすぎずに音楽を楽しめます。

- 携帯電話平型ジャック専用。（ステレオ再生＋通話）
- 着信スイッチと通話用マイクを装備し、ハンズフリーで通話可能。
- 周囲の音が聞き取れるモニター機能搭載。車内アナウンスなど、イヤースセットの外部の音を聞きたいときに便利です。ボタンを押している間のみ外部音が明瞭に聞き取れます。
- やわらかいシリコンゴム製イヤースピースによりはすれにくく長時間の使用にも快適。
- 高磁力ネオジウムマグネット採用でパワフルな音を再生。
- 持ち運びに便利なキャリングポーチ付属。
- 電源を切って、通常のステレオイヤースセットとしても使用可能。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大げがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
乾電池 アルカリ、マンガン

警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

- アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やげが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたつてから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やげがの症状があるときは、医師に相談してください。

注意

- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じるがありますが、これはヘッドホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。

静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

注意 下記の注意を守らないと、げがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

- 肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに本機の使用を中止してください。
- イヤースピースはしっかり取り付けてください。イヤースピースが外れて耳に残ると、げがや病気の原因となることがあります。



警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

注意
この表示の注意事項を守らないと、げがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



警告 下記の注意を守らないと、事故により大げがの原因となります。

運転中は使用しない

自動車やバイク、自転車などの運転中にイヤースセットは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。また、このイヤースセットは周囲の音を低減するタイプですので、警告音なども聞こえにくくなります。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

主な仕様

一般仕様	
<イヤースピース部>	
形式	密閉ダイナミック型
ドライバーユニット	
再生周波数帯域	13.5 mm、ドーム型（CCAW採用）
最大入力	50 mW
インピーダンス	20 Ω（ON時、1 KHzにて）
	10 Ω（OFF時、1 KHzにて）
音圧感度	102 dB/mW（ON時）
	100 dB/mW（OFF時）
再生周波数帯域	8 ～ 22,000 Hz
雑音抑圧周波数帯域	
	50 ～ 1,500 Hz
雑音抑圧量	12 dB以上（200 Hzにて）
<通話用マイク部>	
形式	エレクトレットコンデンサー型
開回路電圧レベル	−35 dB（0 dB = 1 V/Pa）
有効周波数帯域	200 ～ 5,000 Hz
<共通>	
プラグ	平型プラグ
コード	約1.3 m（ネックチェーン）（電池ケース含む）
電源	DC 1.5 V（単4形乾電池×1）
質量	約41 g（単4形乾電池を含む）

付属品

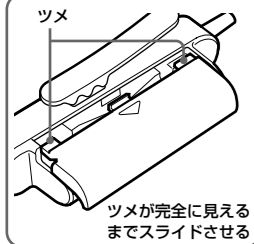
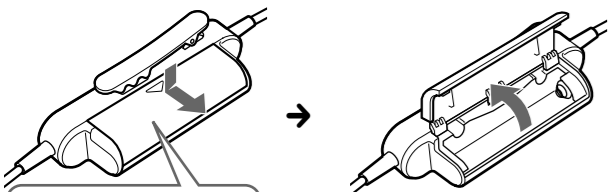
ソニー乾電池（1）
イヤースピース（S、M、L各2）
キャリングポーチ（1）
取扱説明書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
保証書（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

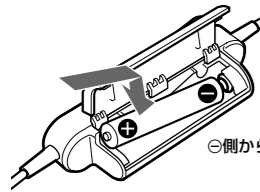
▶ 準備

乾電池を入れる

- 1 電池ケース裏側にある電池ぶたを、押しながらスライドさせて開く。

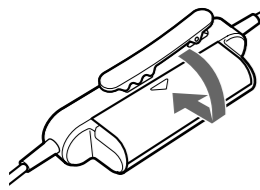


- 2 単4形乾電池を入れる。



◎側から入れる。

- 3 電池ぶたを閉じる



乾電池の持続時間

乾電池の種類	持続時間*1
ソニーアルカリ乾電池 単4形 LR03	約35時間*2
ソニーマンガン乾電池 単4形 R03	約14時間*2

*1 1 kHz、0.1 mW+0.1 mW 出力時

*2 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

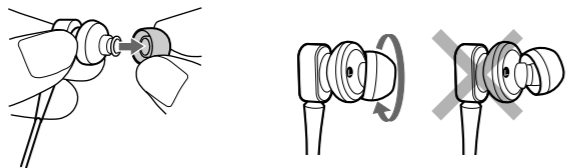
乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、電池ケースのPOWERランプが暗くなってきます。また、ノイズキャンセリング効果がなくなります。その場合、乾電池を新しいものと交換してください。

イヤークリップを選ぶ

イヤークリップが耳にフィットしていないと、低音が聞こえないことがあります。より良い音質を楽しんでいただくためには、イヤークリップのサイズを交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のLサイズやSサイズに交換してください。

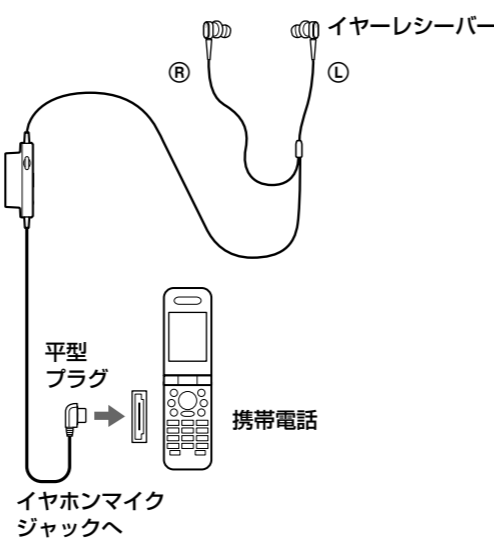
イヤークリップがはずれて耳に残らないよう、イヤークリップを交換する際には、イヤークリップにしっかり取り付けてください。取り付けを確実にするためにイヤークリップを回転してください。



▶ 使いかた

音楽を聞く

- 1 平型プラグを携帯電話のイヤホンマイクジャックに接続する。

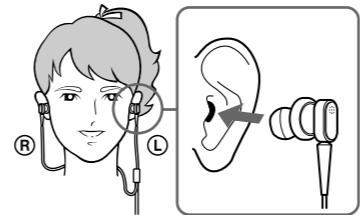


- 2 イヤークリップを装着する。

Ⓜの印のついた方を右耳に、Ⓛの印のついた方を左耳に付けます。イヤークリップと耳の穴が密閉するように、差し込んでください。

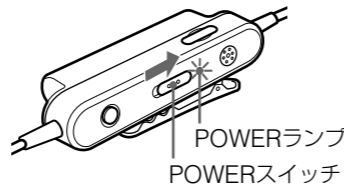
ご注意

イヤークリップが耳にフィットしていないと、ノイズキャンセリング効果が得られませんので、イヤークリップをおさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。



- 3 POWERスイッチを「ON」にする。

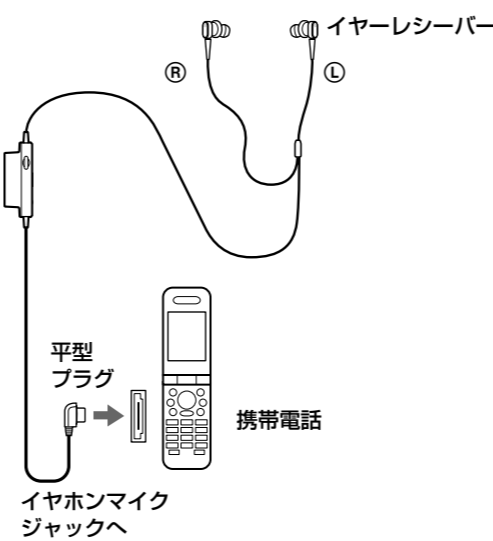
POWERランプが点灯します。環境ノイズが低減され、より明瞭に音楽を聞くことができます。



- 4 接続した携帯電話で音楽を再生する。

通話する

- 1 平型プラグを携帯電話のイヤホンマイクジャックに接続する。

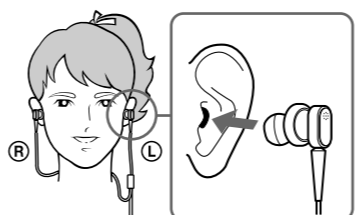


- 2 イヤークリップを装着する。

Ⓜの印のついた方を右耳に、Ⓛの印のついた方を左耳に付けます。イヤークリップと耳の穴が密閉するように、差し込んでください。

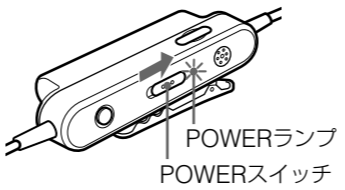
ご注意

イヤークリップが耳にフィットしていないと、ノイズキャンセリング効果が得られませんので、イヤークリップをおさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。



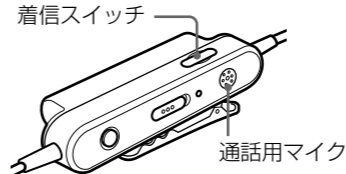
- 3 POWERスイッチを「ON」にする。

POWERランプが点灯します。環境ノイズが低減され、より明瞭に通話相手の声を聞くことができます。



- 4 電話がかかってきたら、着信スイッチを2秒以上押す。

通話用マイクは、図の位置にあります。通話先への声が小さい場合は、マイクを口元に近づけてお話しください。話し終わったら、再び着信スイッチを2秒以上押して通話を終了します。

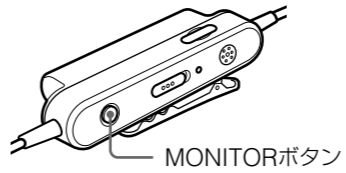


ご注意

- お使いの携帯電話によっては、着信スイッチ機能がない機種もあります。接続先の取扱説明書をご確認ください。
- 着信スイッチの使いかたは、お使いの携帯電話によって異なります。携帯電話の設定をONにしないと、着信スイッチを使用できない機種がありますので、詳しくは接続先の取扱説明書をお読みください。

外部の音を注意して聞きたいときは

POWERスイッチを「ON」にしているときにMONITORボタンを押すと、押ししている間だけノイズキャンセリング効果がなくなり、外部の音を聞くことができます。MONITORボタンを押している間は、携帯電話からの音声または音楽が聞こえなくなります。

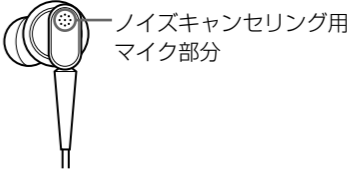


お使いになったあとは

POWERスイッチを「OFF」にしておいてください。

ご注意

- ノイズキャンセリング機能は主に低い周波数帯域のノイズを打ち消すもので、高い周波数帯域のノイズに対しては効果がありません。また、すべての音が打ち消されるわけではありません。
- イヤークリップに内蔵されているノイズキャンセリング用のマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング効果がなくなることがあります。



- イヤークリップの付けかたによっては、ノイズキャンセリング効果が減少することがあります。
- POWERスイッチを「OFF」にしたままでも携帯電話からの音声を聞くことができます。このとき、ノイズキャンセリング機能は動きません。
- POWERスイッチを「ON」にすると、サーという音がしますが、ノイズキャンセリング機能の動作音で、故障ではありません。
- 静かな場所や、ノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じる場合があります。その場合は、POWERスイッチを「OFF」にしてください。

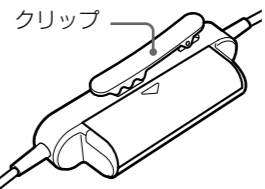
- お使いの携帯電話および電波状況によってノイズが入ることがあります。このような場合は本機を携帯電話から離してください。それでもノイズが改善されない場合は本機のPOWERスイッチをOFFにしてお使いください。

持ち運ぶときは

付属のキャリングポーチには中仕切りがありますので、イヤークリップと電池ケースを別々のスペースに収納できます。

クリップの使いかた

電池ケースはクリップで胸ポケットなどに挟むことができます。



▶ その他

取扱上のご注意

- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- 特にイヤークリップはていねいに扱ってください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 常に良い音でお聞きいただくために、プラグを時々柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、イヤークリップに息を吹きかけることはしないでください。特に、プラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音かとぎれたりすることがあります。
- イヤークリップのお手入れは、イヤークリップからイヤークリップをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。
- イヤークリップは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。
- イヤークリップは消耗品です。破損したら交換してください。

イヤークリップを交換する場合は、別売りのEP-EX1をお買い求めください。

万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に問い合わせてください。

故障とお考えになる前に

音が出ない。

- ➔ イヤークリップと携帯電話との接続を確認する。
- ➔ 接続した携帯電話の電源が入っているか確認する。
- ➔ 接続した携帯電話の音量を上げる。
- ➔ 新しい乾電池と交換する。

音がひずむ。

- ➔ 接続した携帯電話の音量を下げる。
- ➔ 新しい乾電池と交換する。

ノイズが入る。

- ➔ 本機を携帯電話から離す。